電事連会長定例記者会見発言要旨

（2005 年 4 月 15 日）

藤会長発言要旨

◎　電気事業連合会会長の藤でございます。

１．　はじめに

◎　まず、関西電力美浜 3 号機の事故の問題では、皆さまに大変なご迷惑をおかけしますとともに、お騒がせをいたしまして本当に申し訳なく思っております。

◎　この事故に関連して、さる 3 月 25 日に、私は関西電力社長をこの 6 月をもって退任することをお知らせいたしました。本日、電事連の総合政策委員会においても、そのご報告をさせていただき、本日までをもちまして電気事業連合会会長を退任することといたしました。

○　私の後任の会長として、東京電力の勝俣さんが満場一致で選任されたことについては、先ほど勝俣さんがご挨拶をされたと伺っており、すでに皆さまご承知のとおりです。

○　したがって、本日は電事連会長としての最後の会見となります。在任期間中はエネルギー記者会の皆さまには大変お世話になりました。改めて心よりお礼申し上げます。

２．　2 年半を振り返って

◎　さて、私が電事連会長に就任したのは、2002 年 9 月ですから、早いもので 2 年半が経過しております。南前会長が突然お辞めになることとなり、しかもその後任として私が電事連会長になるということは、まさに青天の霹靂でありました。

○　その後の 2 年半の間には、実に様々なことがございました。特に、電力自由化拡大を巡る電気事業分科会での議論、さらには、皆さまの記憶にも新しいこととは存知ますが、昨年来の原子力長計策定会議における原子燃料サイクルを巡る議論が今も強く記憶に残っています。

○　また、それらの議論を踏まえ、青森県や六ヶ所村の方々をはじめ、関係各方面のご理解・ご支援を賜り、昨年末には、待ちに待った六ヶ所再処理施設のウラン試験が開始さ

れ、国内商業再処理が操業開始に向け、貴重な第一歩を踏み出しました。ガラス固化体貯蔵施設における設計ミスなどが判明するということもありましたが、ウラン試験自体としては大きなトラブルもなく進んでいると認識しており、その重要な１ページを見守ることができたことを大変うれしく思っています。

○　その一方、原子力への国民の皆さまの信頼回復をするべく、電事連会長として、微力ながら、精一杯努力を重ねてまいりましたが、関西電力美浜３号機の事故が発生したことは残念の極みであり、誠に申し訳なく思っています。今後は、社業の中での品質管理と信頼回復にさらなる努力を重ねてまいる所存であります。

○　皆さまもご存じのように、後任の勝俣さんは東京電力の企画部門を長く担務され、営業や海外情勢などに精通されているほか、自由化時代の電力経営を熟知しておられ、この電力業界の難局にあって、強靱なリーダーシップを発揮するに最適任の方であると思っています。

○　改めて、後任の勝俣新会長を何卒よろしくお願いいたします。また、エネルギー記者会の皆さまには、引き続き、ご指導とご鞭撻を何卒よろしくお願いいたします。

○　私からは以上です。

勝俣新会長発言要旨

◎　本日の総合政策委員会において、藤会長の後任として私が電事連会長に選任され、明日から務めさせていただくことになりました。

　藤会長においては、昨年の原子燃料サイクル論議、原子力への不信感の増大や電力自由化による競争が激化する中で、全身全霊をかけて責務を全うしていただきました。大変残念な結果となりましたが、藤会長の意志を引き継ぎ、ベストを尽くして務めてまいる所存です。

以　上